

美術科 鑑賞 No.1 「ゲルニカ」

2年 組 番 氏名

STEP(1) ねらいの確認

- この授業で学んでほしい美術の特性・意義

「美術は造形的な美しさの追究だけではなく、社会や世界に多種多様な表現で人間の生き方、考え方を問い、感じ、メッセージ（意図）を伝えるものでもある。」ということ

今回のテーマ(作品)の紹介 (作家・プロフィール・大きさ・**所蔵場所**)



パブロ・ピカソ 作 「ゲルニカ」制作：1937年 3.5m×7.8m
ソフィア王妃芸術センター（スペイン）



ポール・ナッシュ 作 「死の海」
制作：1941年 102cm×152cm
テート・ギャラリー（イギリス）



岡本太郎 作 「明日の神話」 制作：1968~1969年 5.5m×30m
渋谷マークシティ内連絡通路（東京）



丸木位里・俊 作 「沖縄戦の図」制作：1982年~1987年 4m×8.5m
佐喜真美術館（沖縄）



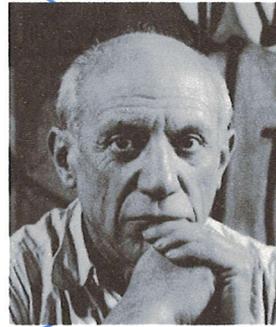
バンクシー 作 「核軍縮運動」
制作：2005年 70cm×50cm
ロンドン国会議事堂前広場（イギリス）

STEP(2) それぞれの作家についてキーワードや画風を記録しよう

パブロ・ルイス・ピカソ Pablo Ruiz Picasso

キュビズム 対象を幾何学的に変化、構成する手法

パリで開催される万博（万国博覧会）のスペイン館に飾るために、共和国政府の依頼があったから

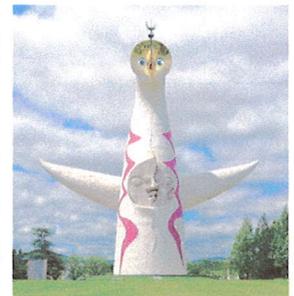


ポール・ナッシュ Paul Nash

元々戦争芸術家で第一次・第二次世界大戦の情景を描く職務に就いており、1940年イギリス空軍省で働くように頼まれ、『死の海』の製作を開始

岡本 太郎 おかもと たろう

メキシコシティに建築中のホテルから依頼されて、1968年～1969年に制作。その後、経営状況が悪化、ホテルは未完成、作品は行方不明になり2003年発見



丸木 位里・丸木 俊 夫妻 まるき いり・まるき とし

生々しく残る戦地を巡り、多くの体験者の証言に耳を傾け、6年の歳月をかけて凄惨な沖縄戦を制作、戦争をしない歴史を歩んでほしいという願いが込められている。「このことは〈かたち〉に残しておかにかあいかん」のことばに表れている。

バンクシー Banksy

テロや暴力、人種差別、過度な資本主義、児童労働、パレスチナ・イスラエル問題、紛争といった様々な社会問題への警鐘であり、社会風刺的なメッセージ性がある。

覆面アーティスト



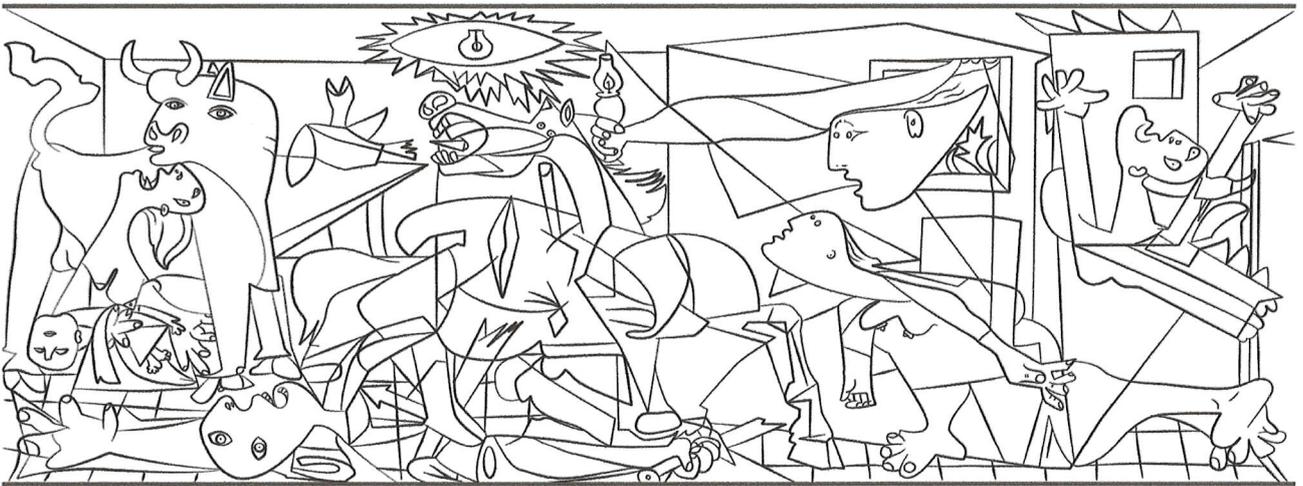
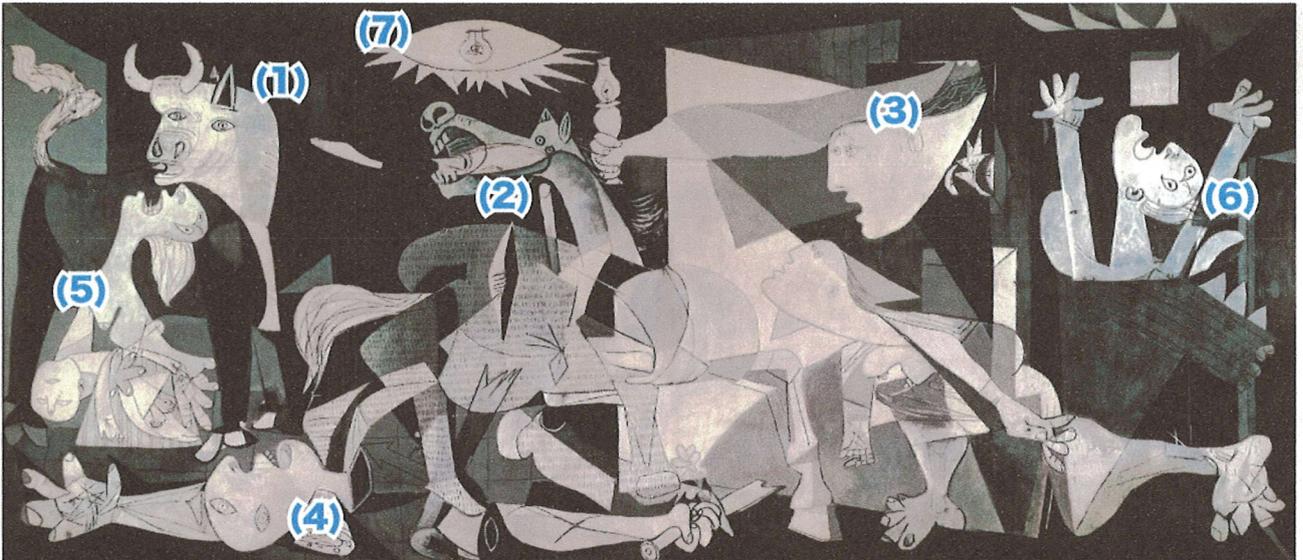
STEP(3) 考えてみよう・話し合おう・発表してみよう

- 紹介した5つの作品の第一印象や共通しているメッセージは何だろう

自分の意見

友達の意見

- 「ゲルニカ」の細部を見てみよう



- (1) ミタウズ (2) (3) を持つ女 (4) 死んだ
- (5) 子の を抱いて泣く女 (6) る女 (7)

に入る言葉、台詞も考えて書いてみよう

- ピカソの「ゲルニカ」と自分が色をつけた「ゲルニカ」シートを比べてみよう

•なぜ、写真や超写実主義の表現を使わなかったと思いますか

自分の意見	友達の意見
-------	-------

•ピカソはなぜこのような描き方（色や形）をしたのでしょうか 色→無彩色 形→変形・キュビズム

自分の意見	友達の意見
-------	-------

参考資料：①色彩が感情にもたらす効果一覧表



②制作中、ピカソは「色彩は救いになる」と言っていた

STEP(4) まとめ・ふり返り

よく頑張りました。
最後までていねいに記入しましょう。

- ①表現と感じ方(解釈)の多様性を理解することができましたか はい ・ いいえ
- ②作品の細部をじっくり見て、考え、作者の意図を感じとれましたか はい ・ いいえ
- ③今後、作品づくりする時はていねいに表現しようと思いましたが はい ・ いいえ
- ④メッセージを伝達する方法は絵画以外にどんなものがあると思いますか